

C02 排出量の見える化支援業務公募型プロポーザル選定委員会  
議事要旨

令和6年3月28日  
環境政策課

C02 排出量の見える化支援業務公募型プロポーザルについて、C02 排出量の見える化支援業務公募型プロポーザル選定委員会（以下「選定委員会」）での審査を踏まえ、次のとおり候補者を選定した。

1 候補者

候補者	e-dash 株式会社
代表者	山崎 冬馬
住所	東京都千代田区大手町一丁目2番1号
契約期間	令和6年4月4日から令和7年3月31日（予定）
申請提案額	9,504,000 円（予定）

【選定理由】

審査会において、応募者から提出された事業提案書など、提案内容を審査基準に基づき審査を行った。

その結果、評価項目とした「事業者選定」「見える化」「実施能力等」において、

- ・ 支援事業者数を必達するため、幅広い金融機関との連携やバックアップ策の準備がされている点
- ・ PDFデータ送信で容易に算定できるツールの活用により「見える化」が省力化できる点
- ・ 他県で同様の事業を実施し成果をあげている点

などが、優れていると評価された。

2 会議の概要

開催日時	令和6年3月28日（木）10:30～12:20
開催場所	オンライン
議題	C02 排出量の見える化支援業務の公募型プロポーザル審査

3 応募者（順番は申請順）

応募者名		住所	代表者名
A	株式会社 YMFG ZONE プラニング	山口県下関市竹崎町四丁目 2 番 36 号	藏重 嘉伸
B	備前グリーンエネルギー株式会社	岡山県備前市東片上 39 番 6	武本 洋一
C	アスエネ株式会社	東京都港区虎ノ門 1-10-5 KDX 虎ノ門 1 丁目ビル WeWork 4 階	西和田 浩平
D	e-dash 株式会社	東京都千代田区大手町一丁目 2 番 1 号	山崎 冬馬

4 CO2 排出量の見える化支援業務公募型プロポーザル候補者選定状況

(1) 選定委員

委員	岡田 誠司 (広島県環境県民局環境担当部長) 渡邊 哲也 (広島県環境県民局環境政策課長) 秋山 日登美 (広島県環境県民局環境保全課長) 出射 太 (広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長 (ものづくり・新産業支援)) 増廣 浩二 (広島県商工労働局イノベーション推進チーム担当課長 (環境エネルギー産業集積促進))
----	--

(2) 審査基準及び結果等

県は、2050 年ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けた取組を推進しており、中でも自主的な取組みの遅れが懸念される中小企業に対し支援が必要である。本業務の狙いは、事業者の現状や課題に沿った適切な支援を通じて、CO2 排出量削減を促進させることであることから、「事業者選定」及び「見える化」の手法、「削減対策の提案」の内容に重点をおいて審査を行った。

審査項目	審査基準	配点 ウェイト	応募者				評価及び選定理由
			A	B	C	D	
1 事業者選定	50 社以上を支援することが提示されており、また、不測の事態(支援先の途中離脱等)に対処できるよう、対策案を準備している	60	36	36	44	42	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ C は多数のコンサルタントを抱えており、途中離脱のリスク低減が期待できると評価された。</li> <li>・ D は幅広い金融機関との連携やバックアップ策の準備が評価された。</li> </ul>
	より多くの県内事業者へ本事業の周知が期待できる	30	22	17	18	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A は県内に幅広い店舗網があり期待できると評価された。</li> <li>・ B は金融機関からどの程度の協力が得られるかが明確でないと評価された。</li> </ul>

2 見える化	事業者負担を省力化して「見える化」する支援手法となっている	30	21	21	21	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Aは一般ツールの活用で省力化を図っている点が評価された。</li> <li>・ Bはエントリーサービスやコールセンターサービスなど工夫された提案を評価された。</li> <li>・ Cは説明会や勉強会の実施など丁寧なサポートが評価された。</li> <li>・ DはPDFデータ送信で容易に算定できる点が評価された。</li> </ul>
	排出状況の「見える化」により、自社の特徴や傾向が容易に把握できる提案となっている	30	20	21	21	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B、C、Dは算定ツールの活用有効性を評価された。</li> </ul>
3 課題抽出	排出状況からターゲットの特定や課題認識につなげられるよう、可視化したデータの活用方法を支援できる提案となっている	30	20	20	20	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ C、Dはツール活用により、多様なサービスが期待できると評価された。</li> </ul>
4 削減対策の提案	事業者の排出状況及び事業形態に応じて、適切かつ柔軟に削減提案を行うことができる提案となっている	30	20	20	19	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Aは丁寧な伴走支援が期待できると評価された。</li> <li>・ Bは事業者施設や稼働状況から詳しい削減対策を提案できると評価された。</li> </ul>
	事業者が、削減対策に納得感を得て削減対策を進められるよう、寄り添った対応が期待できる	30	21	19	20	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Aは状況に応じて現地に赴き対応する点を評価された。</li> </ul>
5 成果報告会	県内の事業者の機運醸成や本事業のPR効果を高めるものとなっている	30	18	19	19	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Cは表彰の提案をしており、他者より優位性があると評価された。</li> <li>・ Dはやや具体性に欠けると評価された。</li> </ul>
6 実施能力等	類似事業の実績がある、事業実施において連携可能先が多くある、など円滑な業務の遂行が期待できる。	30	22	19	22	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Aは前年度の課題を意識した工夫がされている点を評価された。</li> <li>・ Bは実績もあり連携先も多様な一方、建築系以外への実績が乏しいと評価された。</li> <li>・ Dは他県で同様の事業を実施し成果をあげている点を評価された。</li> </ul>
合計点数		300	200	192	204	205	

※本結果は、5名の委員の合計点によるものである。